

令和5年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和6年4月9日

団体所在地 東広島市河内町河戸 802-2
団体の名称 東広島市
職・氏名 所長 伏原 香緒里
(施設名 河内西保育所)

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

(活動内容)・簡条書きで実施した内容を羅列
・いろいろな野菜を育てる。
・園庭にいる生き物を捕まえて飼育と観察。
・ウメの実とヤマモモの収穫。

【7月～9月】(夏季)

(活動内容)・簡条書きで実施した内容を羅列
・保育参加日に親子でターフ、木の枝で基地づくり。
・砂山でウォータースライダー
・収穫した夏野菜を使って、園庭にあるピザ窯でピザクッキング
・かまどでカレークッキング
収穫した梅やヤマモモで作ったジュースを味わう。

【10月～12月】(秋季)

(活動内容)・簡条書きで実施した内容を羅列
・すくもでの焼き芋パーティー
・地域のアドバイザーさんに手ほどきを受けながら、園庭におもちゃ倉庫を作成。
・虫探し(トンボ・バッタ・カマキリ等)をして図鑑で調べる
・芋ほり、芋づる遊び(リースづくり・ミニハウスのカーテン)
・秋の自然物集め(ドングリ・マツボックリ等)

【1月～3月】(冬季)

(活動内容)・簡条書きで実施した内容を羅列
・たきびで焼きマシュマロ
・雪遊び。砂山で雪山スライダー
・かまどで豚汁クッキング
・園庭で卒園式

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】

(写真)



(エピソード記述)

5/30、サナギになっていたアオムシがチョウになる。図鑑で調べ、アゲハチョウだと分かった。チョウの大きさとサナギの殻の小ささに「どうやって入ったんじゃない？」と不思議そう。「次は出てくるところがみたいね。」と話しあった。

6/5、アオムシがサナギになっていたことに気づき、いつ生まれるかなと楽しみにしている。毎朝登所したら、アオムシの様子を見に行く子どもの姿があった。

6/14サナギからチョウになっていたのでみんなで「たんたんたんじょうび」の誕生日の歌を歌ってお祝いする。

6/22飼育してサナギからチョウになるまでに約2週間かかることがわかった。最後の一匹は羽が曲がって生まれ、その後死んでしまった。命の尊さも感じたのではないと思う。(幼児組5～6月の週案より)

【7月～9月】

(写真)



(エピソード記述)

7月に保育参加日を3日設けて、3日かけて園庭に子どもたちと保護者、職員で力を合わせて秘密基地や、シートを利用したターフ作り、乳児用の砂場作り、室内のシステムキッチン作りに取り組みました。

この基地はこの後もどんどん進化していくことになります。作ったターフを掲げ、ここに畳を敷いて暑さを凌いだり、園庭で収穫した梅で作った梅ジュースを味わったり、かくれんぼしたりと子どもたちの一番大好きな憩いの場所となりました。

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

気候が良く、保育所周辺にあるいろいろな場所へ散歩に行きました。

園庭や散歩で拾った自然物などで制作したおもちゃを園庭でお店を開き、あおぞらマルシェを開催しました。年長児がお店屋さんになって、買い物ごっこをリードしました。外の空気を吸いながら、太陽のもとでのお店さんはとても活気があって、売るほうも買うほうもとても楽しんでいました。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

卒園式をするにあたり、『子どもたちが大好きな場所で卒園式をしたい』という思いが湧き、子どもたちと話し合っで園庭で卒園式を開催することにしました。担任と一緒に水やりしながら育てた菜の花も花道にしたり、進化した基地と自分たちで並べた小道から入場したりと、子どものアイデアを取り入れながらどんどん決まっていきました。

当日は、雲一つない晴天で、温かな日差しの中、みんなで作り上げた卒園式は最高の幸せな時間になりました。子どもたちにとっても、保護者にとっても、私たち職員にとっても子どもたちが一番好きな場所での卒園式は最高の思い出になりました。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

(例) こども環境管理士を担当保育士が取得（12月）

- ・ 森林ボランティア もりゆう 代表 の原山先生に、自然の中の遊びや、自然物を使った遊び、環境の整え方を教わり日常の保育の中に取り入れた。

- ・ 地域との関わりについて

(例) 専門知識のある地域の方に園庭のぶどうの木の選定や野菜づくりを月一回交流（毎月）

- ・ 地域のDIYのアドバイザーの方に来ていただいて戸外のおもちゃ倉庫づくりの指導を受ける。
- ・ 畑の土をよくするための腐葉土を作るため、地域センターや保育所周辺の神社の管理者の方に協力していただき、枯れ葉集めをする。

- ・ 保護者との関わりについて

(例) 果物や野菜を保護者と一緒に収穫（毎月）

- ・ 畑の作物の育て方を、農業をしている保護者に教わる。（薪時や苗の仕立て方、肥料の量・与え方、霜のよけ方や虫の予防方法等）
- ・ 環境整備で戸外遊び用の遊具のペンキ塗り、草抜きをしていただいた。
- ・ 保育参加で子どもたちと一緒に木の枝を運び基地づくり、ターフづくり、システムキッチンづくり、丸のこの使い方の伝授、木材の保護剤塗りを一緒に行った。

- ・ その他

*より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページやSNSのURLをご記入ください。

URL	
-----	--